

小諸市下水道事業経営戦略（概要版）

改定計画期間：令和7年度～令和16年度
(2025年度～2034年度)

小諸市 建設水道部 下水道課

経営戦略改定の経緯

- 2017（平成29）年度の策定から7年が経過することから、最新の経営成績に基づいて収支計画を見直し、さらなる経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることを目的として、本計画を改定するものです。
- 改定後の計画期間は、2025（令和7）年度から2034（令和16）年度までとし、10年間の予測を行うものとします。

下水道事業の概要

公共下水道（公共）、特定環境保全公共下水道（特環）、農集集落排水（農集）の3つの事業により下水道事業運営を行っています。（2024（令和6）年3月31日現在）

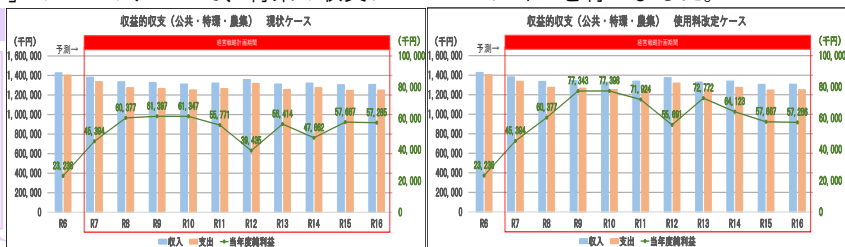
事業	供用開始年	処理区域 内面積	処理区域 内人口	水洗化率	処理場	ポンプ 場	管きよ 延長
公共	1990年 (平成2年)	876 ha	21,386 人	94.19%	1 箇所	—	180 km
特環	2003年 (平成15年)	318 ha	7,805 人	97.07%	1 箇所	1 箇所	66 km
農集	1989年 (平成元年)	275 ha	5,639 人	89.43%	4 箇所	—	64 km

投資・財政計画

「現状ケース」と2027（令和9）年度に10%の使用料改定を行うと仮定した「使用料改定ケース」の2つのケースで、将来の収支シミュレーションを行いました。

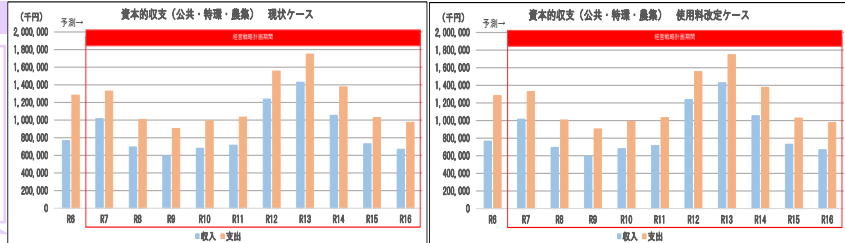
収益的収支

下水道使用料を改定した場合、10年間でおよそ48百万円の基準外繰入金の減少が見込まれます。



資本的収支

使用料改定は今後の検討事項のため、「現状ケース」を採用します。



経営の基本方針と取り組み

基本方針① 安心・安全なまちづくり

- 施設更新の際は、新しい技術や工法の採用を積極的に検討します。
- 下水道施設の保守・点検等を計画的に行い、適正な施設の維持管理に努めます。
- 専門的な知識・技術をもつ職員の育成に努めます。
- 「広報こもろ」やホームページ、「学びのまち・こもろ出前講座」で分かりやすい情報提供を行います。

基本方針② 水洗化の推進並びに公共用水域の保全

- 戸別訪問等による普及啓発活動を実施し、下水道接続率向上に取り組めます。

基本方針③ 経営基盤の強化

- 維持管理委託の広域化並びに発注方法について具体的な検討を進め、効率化を推進します。
- 設備の適切な管理を行い、無駄のない運用を継続していきます。
- 委託内容を適宜見直し、経費削減・効率化に努めます。
- 水洗化率の向上や経費の削減等により、安定的な経営を目指します。
- 3～5年毎に経費回収率の状況を確認し、下水道使用料のあり方および改良・更新の優先順位等について検討していきます。
- 2027（令和9）年度に上下水道一体として、W-PPP導入を検討していきます。

経費回収率向上に向けたロードマップ

業績指標		実績値 2023年度 (令和5年度)	中間値 2029年度 (令和11年度)	目標値 2034年度 (令和16年度)	
経費回収率		110.77%	100%以上を維持	100%以上を維持	
水洗化率		94.07%	94%以上	95%以上	
基準外繰入金		59,560千円	50,000千円以下	40,000千円以下	
今後の取り組み		2025年 (令和7年)	2028年 (令和10年)	2033年 (令和15年)	2034年 (令和16年)
収入増加	下水道使用料改定の必要性の検討	調査・検討	調査・検討	調査・検討	3～5年おきに必要に応じて調査・検討
	戸別訪問等による下水道未接続者への普及啓発活動	継続して実施			
支出抑制	施設老朽化対策の推進	継続して実施			
	官民連携の推進に向けた検討				